



2025年2月28日

第227号

国立研究開発法人 建築研究所国際地震工学センター

〒305-0802 茨城県つくば市立原1 TEL 029-879-0678 FAX 029-864-6777

## 今月の話題

2024年度課題別研修「グローバル地震観測コース」開講  
元研修生との意見交換会(IIESEE オンライン同窓会)より《連載第1回》  
グローバル地震観測コース研修旅行レポート  
(短報)国際親善パーティ開催

## 2024年度課題別研修「グローバル地震観測コース」開講

国際地震工学センター

1月8日にグローバル地震観測コースが開講しました。

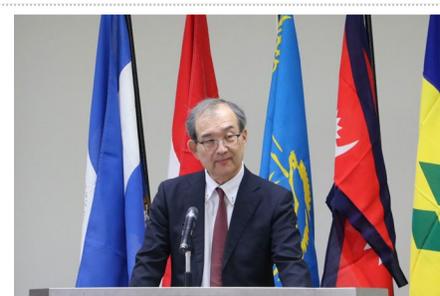
今回は、エルサルバドル(1)、カザフスタン(1)、ネパール(2)、セントビンセント(1)の4カ国(括弧内は人数)から選ばれた研究者や担当官5名が参加、さらにインドネシアから5名がセミナーコースの研修生としてオブザーバー参加をしています。

建築研究所で開催された開講式では、歓迎の挨拶が行われたあと、研修生を代表してネパールから参加したバスネット・ディーパク氏から挨拶がありました。

このコースは、核実験探知識別が可能な人材を育成することを目的として、CTBTO、外務省、JICA、気象庁、その他関係機関の協力により、1995(平成7)年度から実施されていて、今回は29回目の開講となり、これまでの研修修了者は、78ヶ国から297名に上っています。

研修生は、グローバル地震観測に関する知識や高度な地震解析技術を習得するため、積極的に学習に取り組んできております。

間もなく3月3日に研修期間を終える予定で、全員が修了した暁には80ヶ国からの302名が修了したこととなります。



建築研究所  
澤地 孝男 理事長



JICA 筑波センター  
高橋 亮 所長



外務省 軍縮不拡散・科学部 軍備管理軍縮課  
佐藤 碧 主査



ディーパクさん (ネパール)



集合写真



インセプションレポート発表会の風景

## 元研修生との意見交換会(IISEE オンライン同窓会)より 《連載第1回》

昨年12月6日にGRIPS・建研共催シンポジウムとともに開催された元研修生との意見交換会(IISEEオンライン同窓会)におけるスピーチを連載により掲載します。

アルクト・アイトウン氏(1965-1966年IISEE元研修生、地震工学コース)、カティバ・アイトウン氏(1972-1973年IISEE元研修生、上級コース、地震学)によるスピーチ



私はトルコ出身のAlkut AYTUNです。1965年と1966年に東京で地震工学コースに参加しました。かなり昔のことですね。その後、復興省で働きましたが、日本で学んだ知識が仕事を進める上で役立ちました。その後、トルコ科学技術研究評議会で働き始め、退職後はアンカラ大学で講義を始めました。

現在もこの活動を続けています。私は、工学地震学のカリキュラムを作成し、10年以上このコースを教えています。その後、このコースは以前から訓練を受けていた若い人に任せ、私は構造力学と地盤・構造物相互作用に関する講義を担当するようになりました。現在もこの職務を続けています。

私は、建物の固有周期を測定する機器や、教育目的の小型振動台、振動の記録、振動の評価など、かなりの数の機器を開発してきました。最後に、可動式プラットフォームを備えた、7メートル×4メートルのフルスケール地震シミュレーターを設計しました。このシミュレーターは、x、y、zの3次元で振動することができ、加速度データを取得することができます。シミュレーター内の機器がこのデータを信号に変換し、この振動台の振動を制御します。このシミュレーターは2000年頃に稼働しました。つまり、このシミュレーターは20年以上も稼働しているということです。そして、学生やエンジニア、レスキュー隊員たちがここに来て地震の訓練を受けています。

私は今でもこの分野で働いており、この分野で働くための知識と動機を与えてくれたIISEEにとっても感謝しています。私の隣に座っているのは妻の Katibe AYTUN です。自己紹介をお願いしますか？

こんにちは。私は1972年と73年にIISEEの研修に参加し、同じ年に地震学コースと上級地震学コースの両方を受講しました。その後、しばらく地震工学の分野で働きましたが、その後トルコ国営石油会社に移り、この分野で働きました。IISEEで学んだことは、私の職業において非常に役立ちました。ありがとうございます。

## イギバヤフ・ウラン さん(カザフスタン)

### 広島慰霊の地を訪れて感じ、学んだこと

広島慰霊の地を巡る旅は、個人的な深い体験となっただけでなく、歴史の中で悲劇的な瞬間を経験した国に住む者として、重要な教訓となりました。訪れたすべての場所は、私の魂に忘れがたい跡を残しました。

核爆発を生き延びた人々の物語、彼らの痛み、生き残るための闘いが驚くほど真摯に描かれていました。このような悲劇を二度と起こしてはならないことの大切さ、また、戦争のない未来を実現するためには、どれだけの努力が必要かを痛感しました。

地震や自然災害は私たちの生活には避けられないものですが、人類がこれらの課題にどのように対処するかは、私たちの強さと回復力を反映しています。今回の旅では、大災害の本質を別の視点から見ることができました。カザフスタンも自然災害に備えなければならないこと、そして安全と警報システムを開発することがいかに重要であるかを考えました。

未来を現在より良くするためには、過去を思い出すだけでなくそこから学ぶことが重要であることに気づきました。カザフスタンは他の国と同様、過去の過ちから学び、平和を目指して努力し、すべての国民と世界全体の安全を確保しなければなりません。この旅を通じて、私は、世界は最終的に私たち次第であり、私たちが未来の世代に、命の大切さ、お互いを尊重すること、そして私たちの故郷である地球を守ることをどのように教えるかにかかっていることを理解しました。

「なぜ生きるべきかを知ると、どのようにも耐えられる」

フリードリヒ・ニーチェ



原爆ドームの前にて

## ビー・ケイ・ナビン さん(ネパール)

### 旅行中の懐かしいひととき

2025年1月30日から2月2日までの4日間、私たちグローバル地震観測コースの研修生は、広島・神戸・京都の各地を巡る研修旅行に参加しました。

まず、第二次世界大戦で破壊された原爆ドームとその周辺を見学した後、1945年8月6日に広島原爆被爆者である小倉桂子さんの講演を聴講しました。彼女は、原爆投下後の状況、火傷や負傷した被爆者の状況、彼らが経験した精神的、肉体的トラウマ、広島市の惨状について説明してくださいました。スピーチの中で彼女が話された言葉「戦後、私たちは建物やインフラを再建しましたが、失われた命を取り戻すことはできませんでした」には本当に胸を打たれ、私は感情的になりました。

彼女が自分の話をしている間、私は自分自身の幼少期のことを思い出しました。私が子供の頃ネパールで内戦が起こり、死傷者が出ました。内戦は国のインフラ、医療、教育、経済にも影響を及ぼしました。内戦が終了した2006年以降においても、国民に深い恐怖を残したのです。戦争と紛争は、物理的な荒廃と人命の損失だけでなく、生存者の心理的、肉体的、社会的な長期的影響も浮き彫りにしました。それは重要な教訓となり、将来の同様の活動の再発を防ぐのに役立ちます。

研修旅行の一環として、北淡震災記念公園も訪問しました。1995年1月17日午前5時46分(現地時間)、阪神地方を襲った阪神・淡路大震災はマグニチュード7.3を記録しました。この地震により、神戸および淡路島地域の多くの建物、高速道路、家屋は甚大な被害を受けました。地表に現れた断層面はよく保存され、野島断層保存館に保存展示されています。私たちは、その構造、変位を伴う地表の破壊パターンなど、この地域の地質を詳しく観察しました。

この保存館は地震で被災した家屋やキッチンの倒れたキャビネット、活断層の動きと地震によってずれた境界壁などを展示する天然記念物です。VRによる地震体験や全ての展示物は私にゴルカ地震を思い出させました。私はゴルカ地震(2015年4月25日11時56分(現地時間)にネパールとその周辺を襲ったM17.6の地震)とその余震を経験しています。つまり、私自身が被災者なのです。それをきっかけに、地震やそのメカニズム、災害科学に興味を持ちました。今回の視察では、地震のメカニズム、活断層、被害パターン、防災計画、災害後の対応策や復興モデルなどについて貴重な知識を得ることができました。この経験は、自国における同様の作業計画や戦略の立案・実行に貴重な示唆を与えてくれました。



野島断層保存館でのVR地震体験

## (短報)国際親善パーティ開催

### 国際地震工学センター

去る2月3日に、現在開講中の通年コースおよびグローバル地震観測コース、セミナーコースの研修生全員が参加して、昼食会として国際親善交流会を開催しました。



## 連絡先

IISEE ニュースレターは、IISEE と卒業生の架け橋を目指しています。  
ニュースレターへの報告や記事をお待ちしております。皆様の自国でのご活躍をお知らせ下さい。

また、皆様の同僚やお友達もこのメーリングリストに登録するようにお誘い下さい。

[iiseenews@kenken.go.jp](mailto:iiseenews@kenken.go.jp)

<https://iisee.kenken.go.jp/jp/>



## バックナンバーは下記をご覧ください。

<https://iisee.kenken.go.jp/jp/newsletter/>

### 研修関係情報

アブストラクト・データベース(修士論文概要)

E ラーニング(システム)

IISEE-UNESCO レクチャーノート

Bulletin データベース (English)

ダウンロード

地震防災技術情報ネット

### データベース

BRI 強震観測網

地震情報 (English)

宇津カタログ

地震カタログ(世界の大地震の震源メカニズム、余震分布等)

東北地方太平洋沖地震

組積造構造実験データベース